

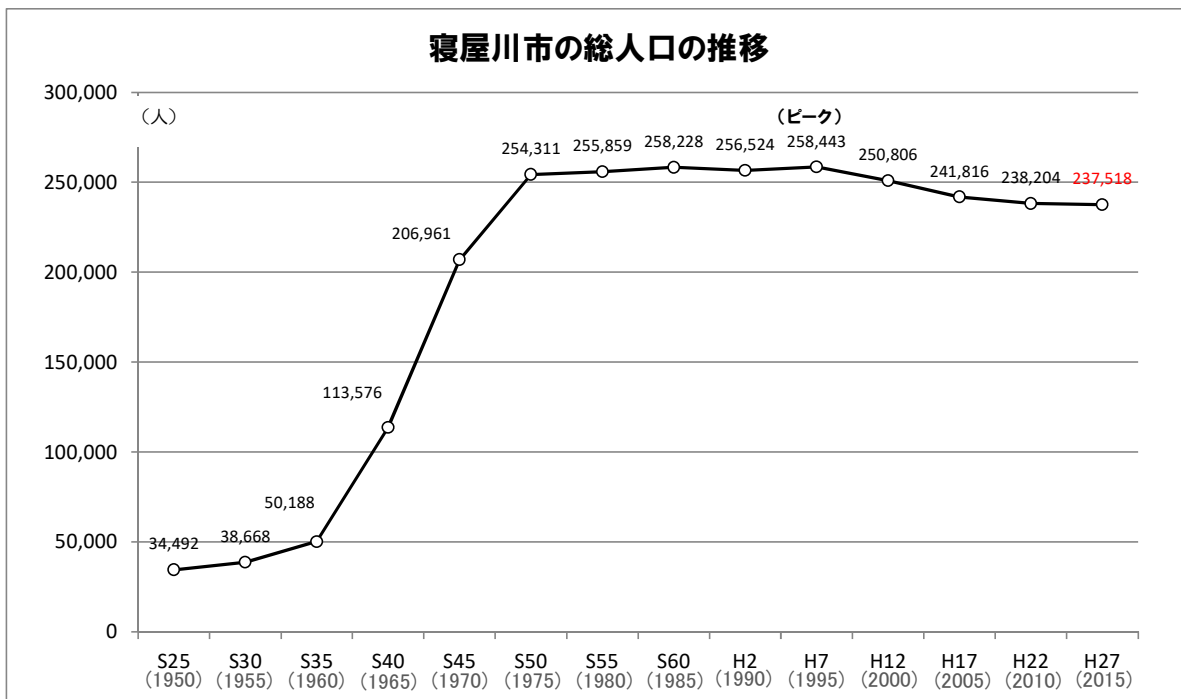
3. 地域の現況

3.1 人口の推移

- ・ 寝屋川市の人口動向をみると、人口減少が続いており、総人口はピークであった平成 7 (1995) 年の約 25.8 万人から減少が続いており、平成 27 (2015) 年には約 23.8 万人となっています。
- ・ 少子高齢化が進行しており、総人口がピークであった平成 7 (1995) 年に対して、平成 27 (2015) 年の老年人口は約 2.9 倍の約 6.8 万人となっています。また、老年人口指数は平成 27 (2015) 年には約 47.6% となっており、生産年齢人口 2 人あたりで約 1 人の老年人口を支える人口構造となっています。
- ・ 今後も少子高齢化などに伴う人口減少は一層進行する見込みです。

(1) 総人口

寝屋川市の総人口の推移をみると、昭和 35 (1960) 年以降に急速に人口が増加して、昭和 50 (1975) 年には約 25.4 万人となりました。その後は、ほぼ横ばいで推移したが、平成 7 (1995) 年のピーク以降は減少し、平成 27 (2015) 年では、約 23.8 万人となっています。



資料：国勢調査、寝屋川市統計書（各年）

図 総人口の推移

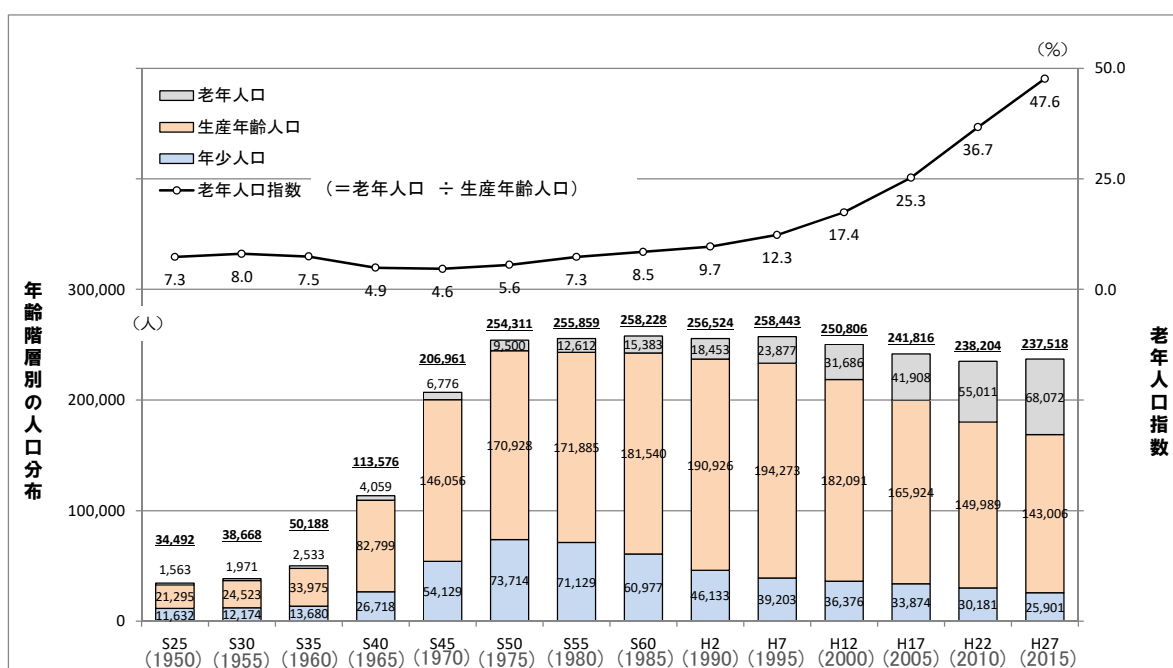
(2) 年齢階層別の人口

寝屋川市の年齢階層別人口の推移をみると、老年人口（65歳以上の人口）が年々増加しています。総人口がピークであった平成7（1995）年に比べ、平成27（2015）年の老年人口は約2.9倍の約6.8万人となっています。

一方で、年少人口や生産年齢人口は年々、減少しています。総人口のピークであった平成7（1995）年と比べ、年少人口は約33.9%、生産年齢人口は約26.3%の減少となっています。

老年人口1人あたりの生産年齢人口の割合を示す老年人口指数をみると、平成27（2015）年には47.6%となっており、生産年齢人口2人で約1人の老年人口を支えるような人口構造となっています。

※ 老年人口1人あたりの生産年齢人口の割合を指す

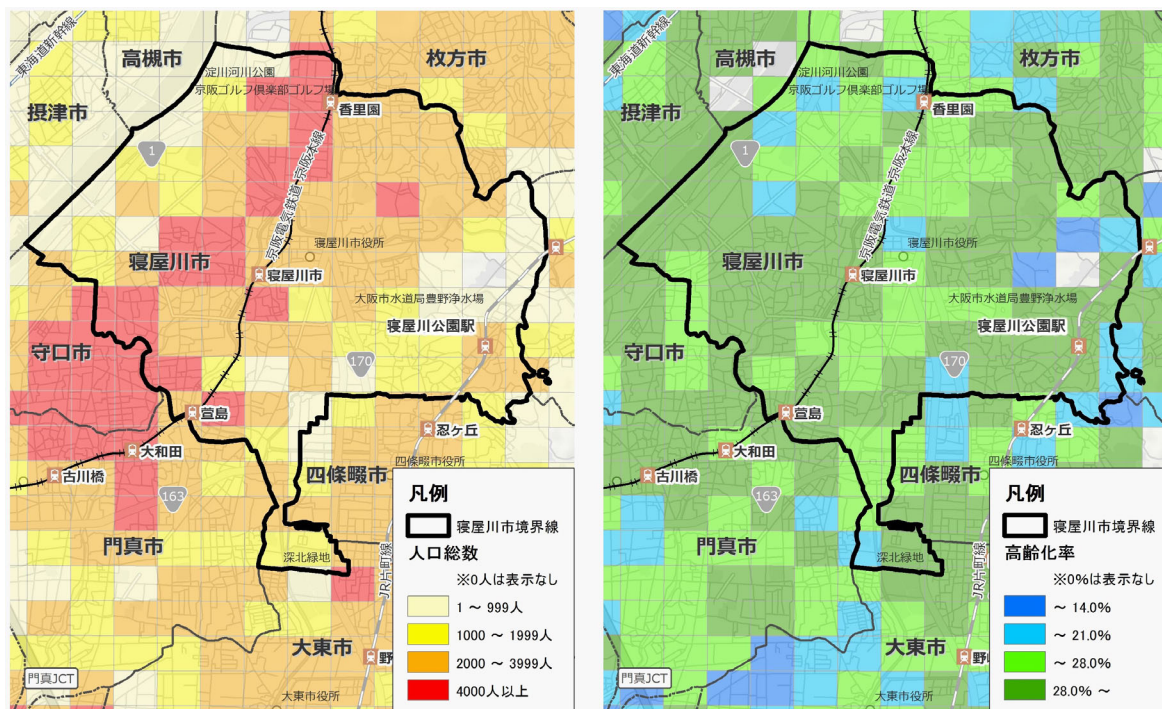


資料：国勢調査、寝屋川市統計書（各年）

図 年齢階層別人口の推移

(3) 人口の分布

寝屋川市の人口の分布をみると、寝屋川市駅の西側に人口が多い地域が存在しています。また、寝屋川市駅の西側のほか、北東部の団地エリア、寝屋川公園駅周辺に高齢化率の高い地域がみられます。



資料：国勢調査（平成 27(2015)年）

図 人口の分布（左：人口、右：高齢化率）

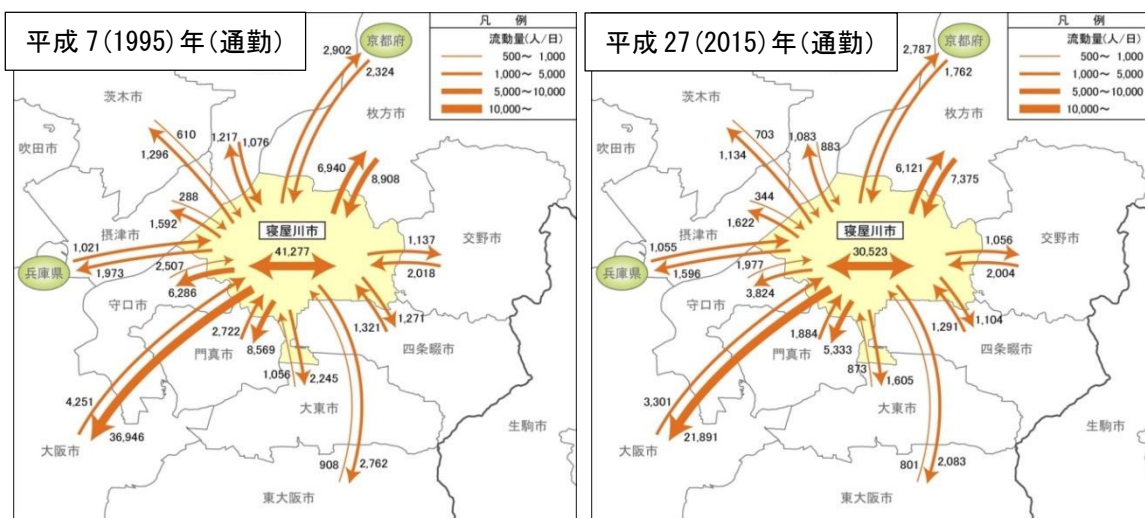
3.2 人の動き

- ・ 寝屋川市の人の動きをみると、減少傾向がみられます。
- ・ 公共交通による人の動きのうち、バスによる移動は約 33.3%減少しています。
- ・ 目的別の移動手段や駅端末交通手段をみると、バス利用が占める割合は小さくなっています。

(1) 通勤・通学流動

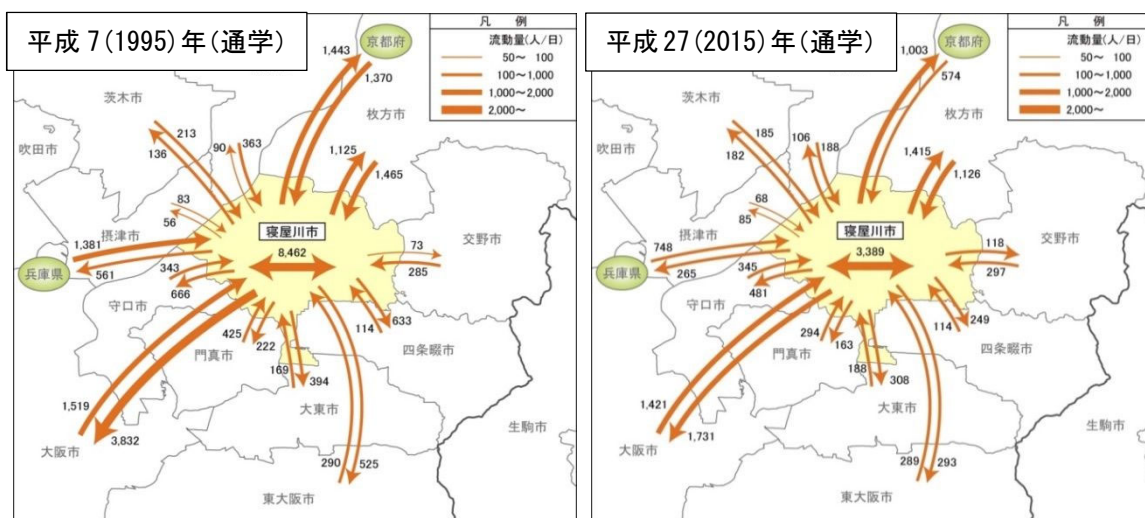
寝屋川市の通勤流動を平成 7 (1995) 年と平成 27 (2015) 年を比べると、行先に関わらず流動量が減少しています。特に、寝屋川市から大阪市、門真市への流動量が大きく減少しています。

また、通学流動についても、平成 7 (1995) 年と平成 27 (2015) 年を比べると、行先に関わらず流動量が減少しています。特に、寝屋川市から大阪市への流動量が大きく減少しています。



資料：国勢調査（平成 7 (1995) 年、平成 27 (2015) 年）

図 平成 7 (1995) 年と平成 27 (2015) 年の通勤流動の比較

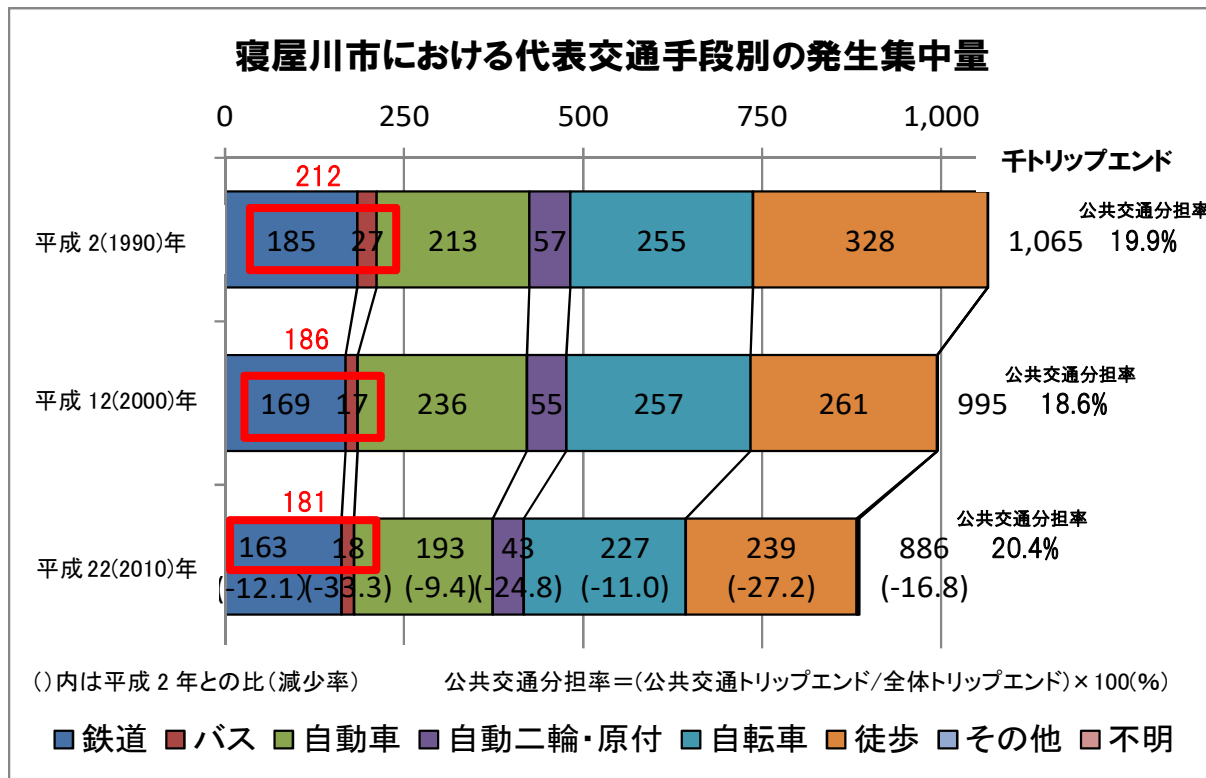


資料：国勢調査（平成 7 (1995) 年、平成 27 (2015) 年）

図 平成 7 (1995) 年と平成 27 (2015) 年の通学流動の比較

(2) 代表交通手段別の発生集中量

寝屋川市における人の動きをみると、平成2(1990)年以降、発生集中量が減少しています。また、代表交通手段別の発生集中量をみると、平成2(1990)年と比較して、平成22(2010)年では、公共交通(鉄道やバス)による移動が減少しています。鉄道は約12.1%減少、バスは約33.3%減少となっています。



資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査(平成22(2010)年)

図 代表交通手段別の発生集中量

【参考】

※ パーソントリップ調査

・交通の主体である「人(パーソン)の動き(トリップ)」に着目し、交通目的や利用交通手段、移動の起終点の場所など、一日の全ての動きについて把握することを通じて都市交通の実態を捉える調査である。寝屋川市を含む近畿圏パーソントリップ調査は、昭和45(1970)年に第1回パーソントリップ調査を実施し、その後10年間隔(昭和55(1980)年、平成2(1990)年、平成12(2000)年、平成22(2010)年)で実施されている。

※ トリップとトリップエンド

・人がある目的をもってある地点からある地点まで移動することを総称して「トリップ」と呼ぶ。トリップの数を表す単位として「トリップ」と「トリップエンド」があり、右図のように移動を矢印で表現すると矢印の線の数(右図は3トリップ)、矢印の両端(●と○の数)がトリップエンド(右図では6トリップエンド)に相当する。

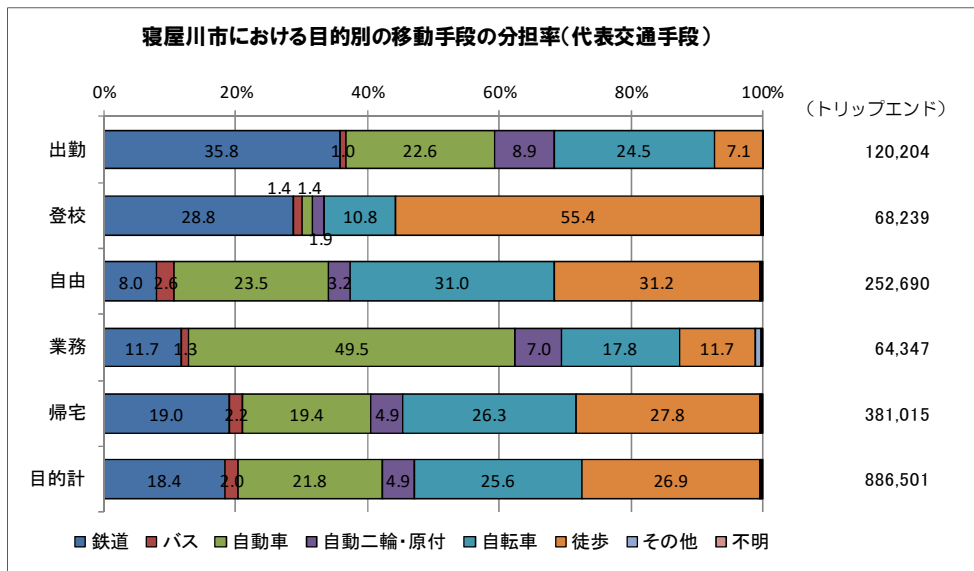


出典：京阪神都市圏交通計画協議会 HP

図 トリップとトリップエンドの概略

(3) 代表交通手段別

寝屋川市における目的別の移動手段をみると、出勤や登校目的では、鉄道の利用が約3～4割となっています。一方で、業務目的では約5割が自動車の利用となっています。いずれの目的でも、バスの占める割合は1割に満たない利用となっています。



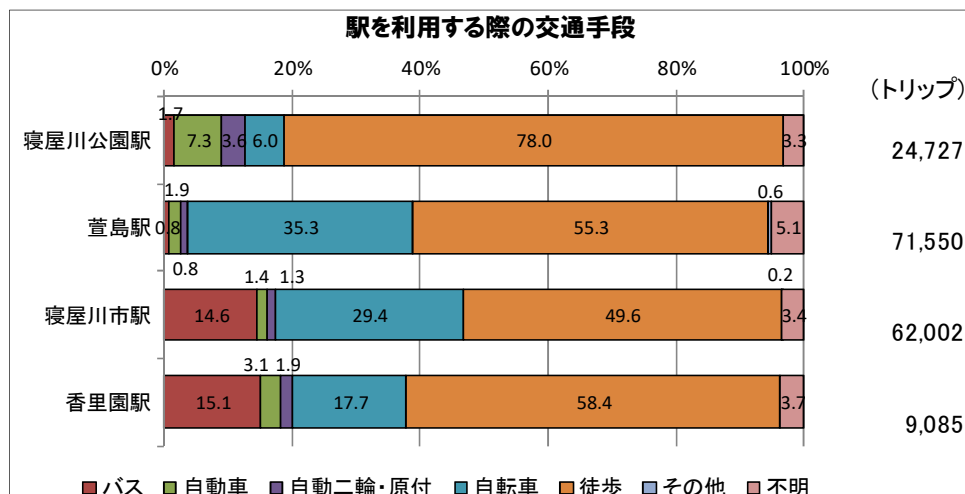
資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査（平成22(2010)年）

図 目的別の移動手段の分担率（代表交通手段）

(4) 駅を利用する際の端末交通手段の分担率

寝屋川市における駅を利用する際の端末交通手段の分担率をみると、京阪寝屋川市駅や京阪香里園駅ではバスの占める割合が約15%と他の2駅よりも高くなっています。

また、京阪萱島駅では自転車の占める割合が約35%、寝屋川公園駅では徒歩の占める割合が約78%と他の駅よりも高くなっています。



資料：第5回近畿圏パーソントリップ調査（平成22(2010)年）

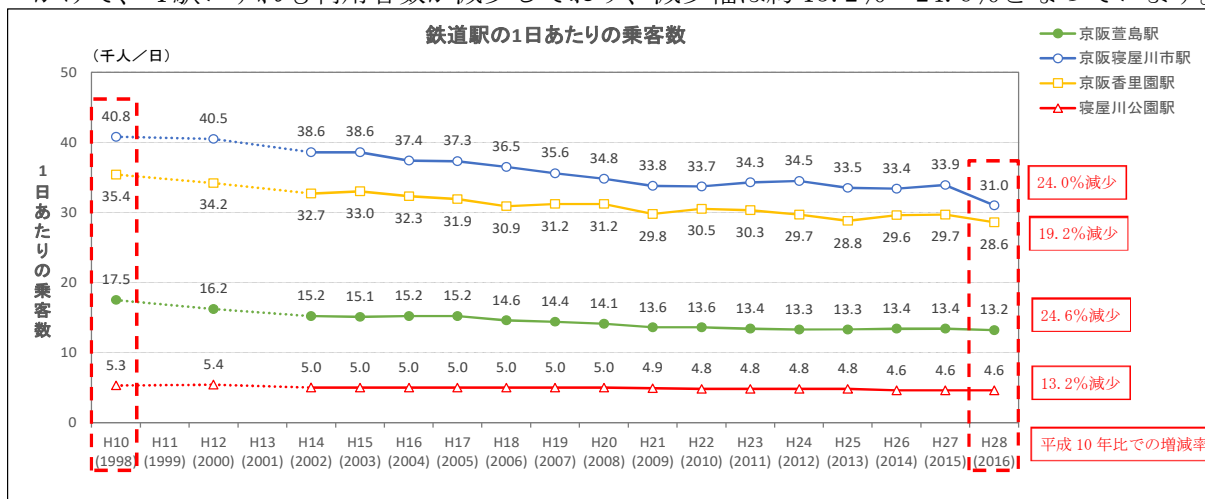
図 駅を利用する際の端末交通手段の分担率

3.3 公共交通を取り巻く状況

- ・ 寝屋川市を運行する鉄道、路線バスについては、利用者数の減少傾向が続いています。
- ・ 路線バスについては、大幅な減便や路線の廃止等を行われていないが、段階的な見直し等が行われています。

(1) 鉄道

寝屋川市の鉄道駅の1日あたりの利用者数をみると、平成10(1998)年から平成28(2016)年にかけて、4駅いずれも利用者数が減少しており、減少幅は約13.2%~24.6%となっています。



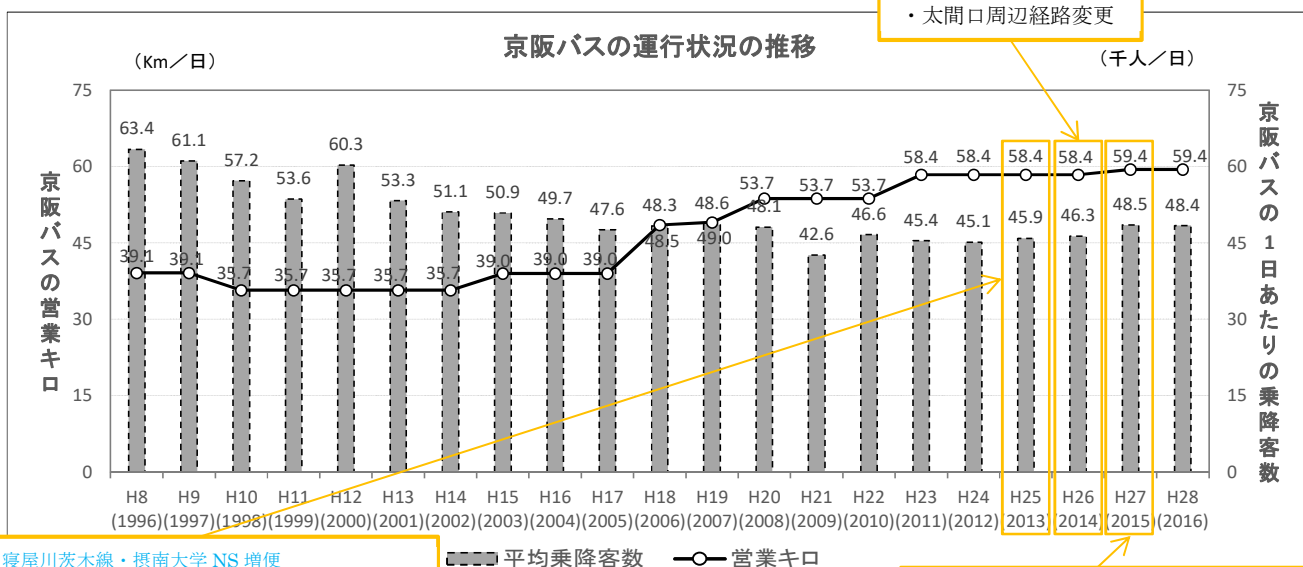
資料：寝屋川市統計書（各年）

図 鉄道駅の1日あたりの乗客数の推移

(2) バス

① 路線バスの運行状況(タウンくる含む)

平成8(1996)年に比べ、寝屋川市内の営業キロは約51.9%の増加となっている一方、乗降客数は約23.7%の減少となっています。



- ・ 寝屋川茨木線増便
- ・ 太間口周辺経路変更

- ・ 寝屋川茨木線・摂南大学NS増便
- ・ 太間公園点野線系統新設
- ・ 上記に伴い、寝屋川守口線、国道線の輸送力調整
- ・ 高柳線の平日減便
- ・ 津田香里線深夜バス新設
- ・ 寝屋川北部線・寝屋川団地線等輸送力調整

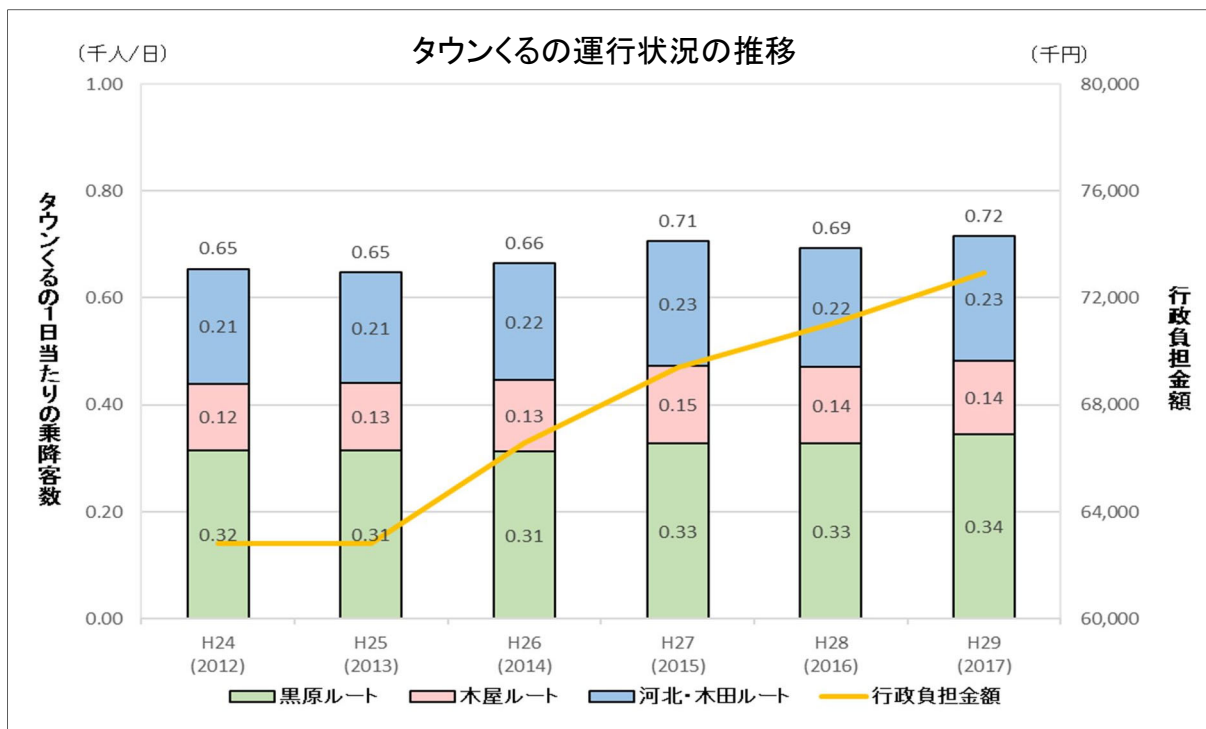
- ・ 寝屋川音羽町線北行増便
- ・ イオンモール四条驛開業による系統新設・延長、寝屋川駅前線への一部経路変更
- ・ 寝屋川北部線・寝屋川団地線輸送力調整等

資料：寝屋川市統計、第2回 寝屋川市地域公共交通会議資料

図 バスの運行状況と乗降客数の推移

②タウンくるの運行状況

タウンくる（音羽町線除く）の1日あたりの乗降客数は平成24(2012)年に比べ増加傾向であり、10.0%の増加となっています。また、公共交通空白地域解消のために市が、バス事業者に対して運行費用の一部を負担し、タウンくるバスの運行を行っております。負担金は、運転手不足や燃料の高騰により、平成24(2012)年に比べ16.1%の増加となっております。

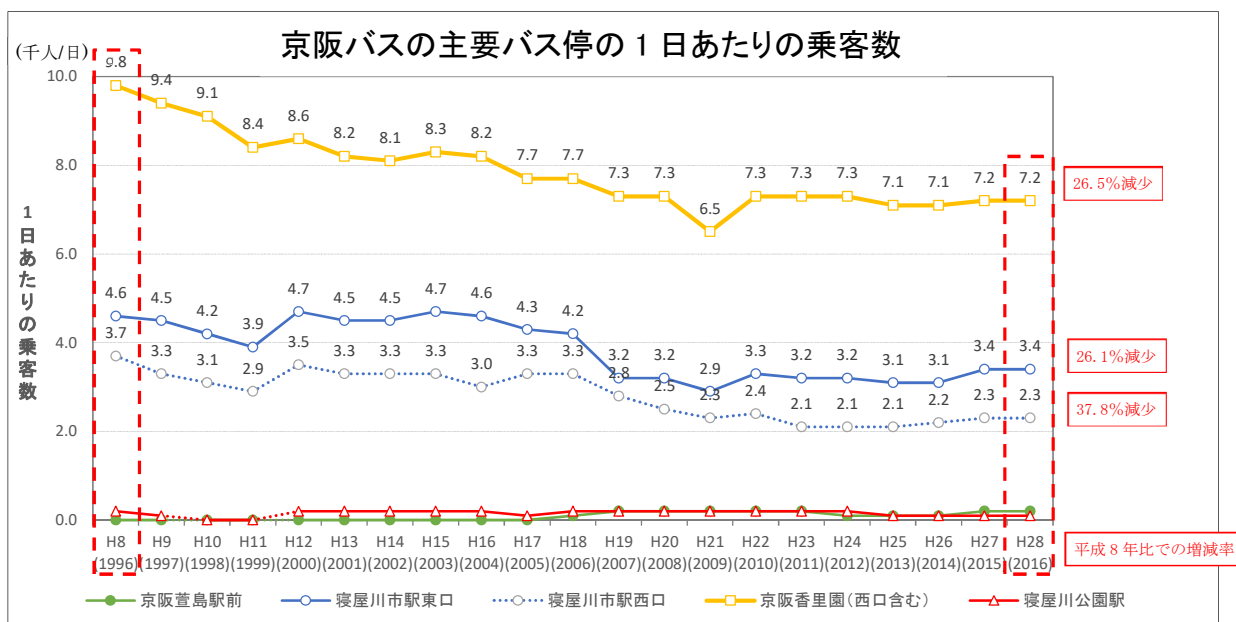


資料：京阪バス株式会社 タウンくる月別旅客数データ
寝屋川市実績データ

図 タウンくるの運行状況と乗降客数の推移

③駅ごとのバス乗客数の推移

平成8(1996)年に比べ、乗客数が寝屋川市駅西口で約37.8%減少しています。また、京阪香里園駅、寝屋川市駅東口では26%以上の減少となっています。



資料：寝屋川市統計

図 バスの運行状況と乗降客数の推移

④京阪バス 寝屋川市内通過系統一覧（営業所別）【平成30(2018)年3月31日現在】

香里団地支所

運 行 系 統					
番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (キロメートル)	運行 回数 (回)
1	枚方市駅 南口	藤田川 新香里	京阪 香里園	往 - 復 5.9	9.0
1	枚方市駅 南口	藤田川 新香里	京阪 香里園	往 5.8 復 5.9	29.0
1	枚方市駅 南口	藤田川 新香里	京阪 香里園	往 5.8 復 5.9	7.0
1	藤田川	新香里	京阪 香里園	往 - 復 3.0	2.5
1	藤田川	新香里	京阪 香里園	往 3.0 復 3.0	13.0
1	関西医大 枚方病院	藤田川 新香里	京阪 香里園	往 6.4 復 6.5	4.5
1	新香里	香里ヶ丘	京阪 香里園	往 2.3 復 -	3.5
1	藤田川	【深夜】 新香里	京阪 香里園	往 - 復 3.0	0.5
1A	関西医大 枚方病院	藤田川 新香里	京阪 香里園	往 - 復 6.5	3.5
9A	京阪 香里園	高田	藤田川	往 4.2 復 4.2	3.0
9A	京阪 香里園	高田 藤田川	枚方市駅 南口	往 7.1 復 -	11.0
9A	京阪 香里園	高田 藤田川	枚方市駅 南口	往 7.1 復 7.0	20.0
い	京阪 香里園	香里ヶ丘八丁目	京阪 香里園	往 7.0 復 -	14.5
い	香里ヶ丘 八丁目	光善寺駅	京阪 香里園	往 3.5 復 3.5	7.0

高槻支所

運 行 系 統					
番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (キロメートル)	運行 回数 (回)
11	太間公園	摂南大学	寝屋川 市駅	往 3.1 復 3.1	2.5
直通	摂南大学	(ノストップ)	寝屋川 市駅	往 - 復 3.1	0.5
12	寝屋川 市駅	摂南大学 市役所南口	J R 茨木 東口	往 10.9 復 11.3	23.5
直通	J R 茨木 東口	阪急茨木南口	摂南大学	往 - 復 8.5	1.0
直通	阪急茨木 南口	(ノストップ)	摂南大学	往 7.3 復 -	0.5

交野営業所

運 行 系 統					
番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (キロメートル)	運行 回数 (回)
7	京阪 香里園	開成小学校前 藤田川	京阪 香里園	往 6.6 復 -	6.0
1	藤田川	新香里	京阪 香里園	往 - 復 3.0	0.5
1	藤田川	新香里	京阪 香里園	往 3.0 復 3.0	9.5
13	香里ヶ丘 八丁目	淀見公園 公孫樹通	京阪 香里園	往 2.7 復 -	2.0
1	枚方市駅 南口	藤田川 新香里	京阪 香里園	往 5.8 復 5.9	1.0
9	京阪 香里園	広野	京阪 交野市駅	往 4.9 復 4.9	26.0
15	京阪 香里園	野口 京阪交野市駅	星田駅	往 8.7 復 8.7	12.0
14	京阪 香里園	京阪交野市駅 幾野四丁目	津田駅	往 8.6 復 8.6	24.0
9A	京阪 香里園	高田	藤田川	往 4.2 復 4.2	3.5
9	京阪 香里園	香里ヶ丘	高田	往 2.8 復 2.8	20.0
9A	京阪 香里園	高田 藤田川	枚方市駅 南口	往 7.1 復 -	0.5
9A	京阪 香里園	高田 藤田川	枚方市駅 南口	往 7.1 復 7.0	3.5
9	京阪 香里園	【深夜】 高田	交野市駅	往 4.2 復 -	0.5
31A	寝屋川 市駅	太秦東口 太秦住宅	寝屋川 市駅	往 - 復 5.5	12.0
31	寝屋川 市駅	太秦住宅 高宮	太秦東口	往 3.0 復 3.0	9.0
31	寝屋川 市駅	高宮	太秦住宅	往 2.7 復 2.7	16.0
36	寝屋川 市駅	太秦住宅 高宮	東寝屋川 駅	往 5.1 復 5.1	8.0
30	寝屋川 市駅	初町 大成町	イオモール 四條畷	往 3.4 復 3.4	29.0
33	寝屋川 市駅	砂	四条畷駅	往 6.0 復 6.0	1.0
34	寝屋川 市駅	楠根南町 教育センター	東寝屋川 駅	往 5.5 復 5.5	2.0
35	寝屋川 市駅	小路北町	忍ヶ丘駅	往 4.7 復 4.7	3.0
35	寝屋川 市駅	楠根南町 忍ヶ丘駅	イオモール 四條畷	往 7.0 復 7.0	9.5
37	寝屋川 市駅	楠根南町 忍ヶ丘駅	四条畷駅	往 6.7 復 6.7	6.0
21	寝屋川 市駅	観音橋	寝屋川 団地	往 3.6 復 3.6	61.5
25	三井泰 団地	三井団地	京阪 香里園	往 2.9 復 2.9	12.5
25B	ビバモール 寝屋川	三井団地	京阪 香里園	往 4.0 復 3.5	14.0
25	三井団地	成田山不動尊前	京阪 香里園	往 2.4 復 2.6	10.5
22	寝屋川 市駅	三井団地	京阪 香里園	往 5.8 復 5.9	42.0
23	寝屋川 市駅	田井	三井団地	往 - 復 3.3	0.5
直通	摂南大学	(ノストップ)	寝屋川 市駅	往 2.8 復 3.1	2.0
41B	寝屋川 市駅	秦公民館前 ビバモール寝屋川	梅が丘	往 8.0 復 7.7	7.0
41B	寝屋川 市駅	秦公民館前 ビバモール寝屋川	東寝屋川 駅	往 6.8 復 6.5	6.5
40	寝屋川 団地	寝屋神社前	星田駅	往 2.3 復 2.3	10.0
45B	寝屋川 団地	星田駅 ビバモール寝屋川	コモンティ 星田	往 5.6 復 5.6	9.0
45B	寝屋川 団地	寝屋 ビバモール寝屋川	星田駅	往 2.7 復 2.7	7.5
47B	寝屋川 市駅	観音橋 ビバモール寝屋川	東寝屋川 駅	往 6.6 復 6.6	8.5
47B	寝屋川 市駅	観音橋 ビバモール寝屋川	星田駅	往 4.5 復 4.5	3.5
47B	三井泰 団地	ビバモール寝屋川	東寝屋川 駅	往 4.2 復 -	0.5
47B	三井泰 団地	星田駅 ビバモール寝屋川	忍ヶ丘駅	往 7.2 復 -	0.5

※運行回数は片道1便（または、1循環1便）を
0.5回として示している

資料：京阪バス株式会社より提供

寝屋川支所

運 行 系 統					
番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (キロメートル)	運行 回数 (回)
11	太間公園	摂南大学	寝屋川市駅	往 3.1 復 3.1	27.0
直通	摂南大学	(ノストップ)	寝屋川市駅	往 2.8 復 3.1	14.0
10	寝屋川市駅	摂南大学 点野団地	寝屋川市駅	往 8.0 復 8.0	2.5
10	寝屋川市駅	摂南大学 点野団地	仁和寺	往 5.9 復 -	1.0
10	寝屋川市駅	摂南大学 点野団地	仁和寺 団地口	往 - 復 5.4	2.5
タウンくる	萱島駅	黒原旭町	萱島駅	往 6.4 復 -	12.0
タウンくる	萱島駅	黒原旭町	第二 幼稚園	往 3.8 復 -	1.0
タウンくる	萱島駅	黒原旭町	啓明 小学校	往 - 復 3.9	1.0
タウンくる	寝屋川市駅	萱島駅	河北	往 9.3 復 9.3	5.0
タウンくる	寝屋川市駅	萱島駅 河北	深北緑地	往 10.2 復 10.2	2.0
タウンくる	市立 総合センター	萱島駅 河北	深北緑地	往 9.6 復 9.9	1.0
タウンくる	萱島駅	猪鼻橋	河北	往 3.7 復 4.0	7.0
タウンくる	寝屋川市駅	太間公園 葛原	京阪 香里園	往 9.6 復 -	2.0
タウンくる	点野 国道口	葛原	京阪 香里園	往 5.8 復 -	0.5
タウンくる	京阪 香里園	太間公園	西コミュニ ティ センター	往 4.5 復 -	0.5
タウンくる	京阪 香里園	市立総合センター 緑町中	寝屋川市駅	往 10.6 復 -	2.0
タウンくる	京阪 香里園	市立総合センター 緑町	寝屋川市駅	往 - 復 9.6	2.0
12	寝屋川市駅	摂南大学 市役所南口	J R 茨木 東口	往 10.9 復 11.3	11.0
12	寝屋川市駅	摂南大学 目垣	J R 茨木 東口	往 10.0 復 -	0.5
12	寝屋川市駅	摂南大学	上島飼北	往 - 復 -	0.5
4	京阪 守口市駅	地下鉄大日南口 葛原	寝屋川市駅	往 - 復 8.1	4.5
4	京阪 守口市駅	大日駅 葛原	寝屋川市駅	往 8.5 復 8.5	13.0
4	京阪 守口市駅	地下鉄大日南口 葛原	寝屋川市駅	往 8.1 復 -	4.0
2	京阪 守口市駅	大日駅	仁和寺	往 - 復 5.4	1.5
4	大日駅	葛原	寝屋川市駅	往 5.5 復 5.5	16.0
1	京阪 守口市駅	土居 大久保	寝屋川市駅	往 9.6 復 8.3	8.0
1	京阪 守口市駅	大久保	仁和寺	往 - 復 6.2	0.5
22	仁和寺	寝屋川車庫	寝屋川市駅	往 2.1 復 2.1	16.5
22	寝屋川車庫		寝屋川市駅	往 0.9 復 -	0.5
1	寝屋川市駅	京阪守口市駅	寝屋川市駅	往 - 復 17.9	3.0
1	寝屋川市駅	京阪守口市駅	寝屋川車庫	往 - 復 17.0	0.5
1	京阪 守口市駅	大久保	寝屋川市駅	往 8.3 復 -	6.0
1	京阪 守口市駅	大久保	寝屋川車庫	往 7.4 復 -	0.5
1A	大日駅	大日町二丁目 仁和寺	寝屋川市駅	往 6.0 復 6.0	11.0
6	大日駅	大久保 仁和寺	寝屋川市駅	往 5.2 復 5.2	11.0
3	京阪 守口市駅	仁和寺団地 摂南大学	寝屋川市駅	往 10.9 復 10.9	2.5
3	京阪 守口市駅	仁和寺団地 摂南大学	寝屋川車庫	往 - 復 10.0	0.5
5	大日駅	仁和寺団地 摂南大学	寝屋川市駅	往 8.3 復 8.3	10.5
14	京阪 大和田駅	高柳	寝屋川市駅	往 4.1 復 4.1	14.5
14	京阪 大和田駅	高柳	寝屋川車庫	往 3.2 復 3.2	1.5
タウンくる	寝屋川市駅	寝屋川市役所 音羽町	京阪 香里園	往 4.3 復 4.5	6.0
タウンくる	寝屋川市駅	音羽町	京阪 香里園	往 3.5 復 3.7	38.0

門真支所

運 行 系 統					
番号	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (キロメートル)	運行 回数 (回)
30	寝屋川市駅	電通大 寝屋川C	イオン 四條畷	往 - 復 3.4	0.5
30A	寝屋川市駅	電通大 寝屋川C	電通大 四條畷キャンパス	往 7.8 復 7.8	24.5
直通	電通大 駅前キャンパス	(ノストップ)	電通大 四條畷キャンパス	往 6.5 復 -	2.0
直通	寝屋川市駅	(ノストップ)	電通大 四條畷キャンパス	往 - 復 6.6	0.5
21	京阪 大和田駅	菫屋	四條畷駅	往 5.2 復 5.0	39.0
21	巢本	菫屋	四條畷駅	往 3.4 復 -	0.5
23	京阪 大和田駅	菫屋	国道中野	往 - 復 3.2	0.5
23	京阪 大和田駅	菫屋	清滝団地	往 6.0 復 5.8	11.5
23	京阪 大和田駅	菫屋	清滝 四條畷 電通大	往 6.0 復 -	1.0
23A	京阪 大和田駅	清滝団地 四條畷電通大	京阪 大和田駅	往 12.6 復 -	4.0
四條畷コミュニティバス 南ルート	四條畷駅	国道中野	雁屋 四條畷駅	往 7.1 復 -	3.5
四條畷コミュニティバス 南ルート	四條畷駅	雁屋	四條畷駅	往 8.3 復 -	1.5

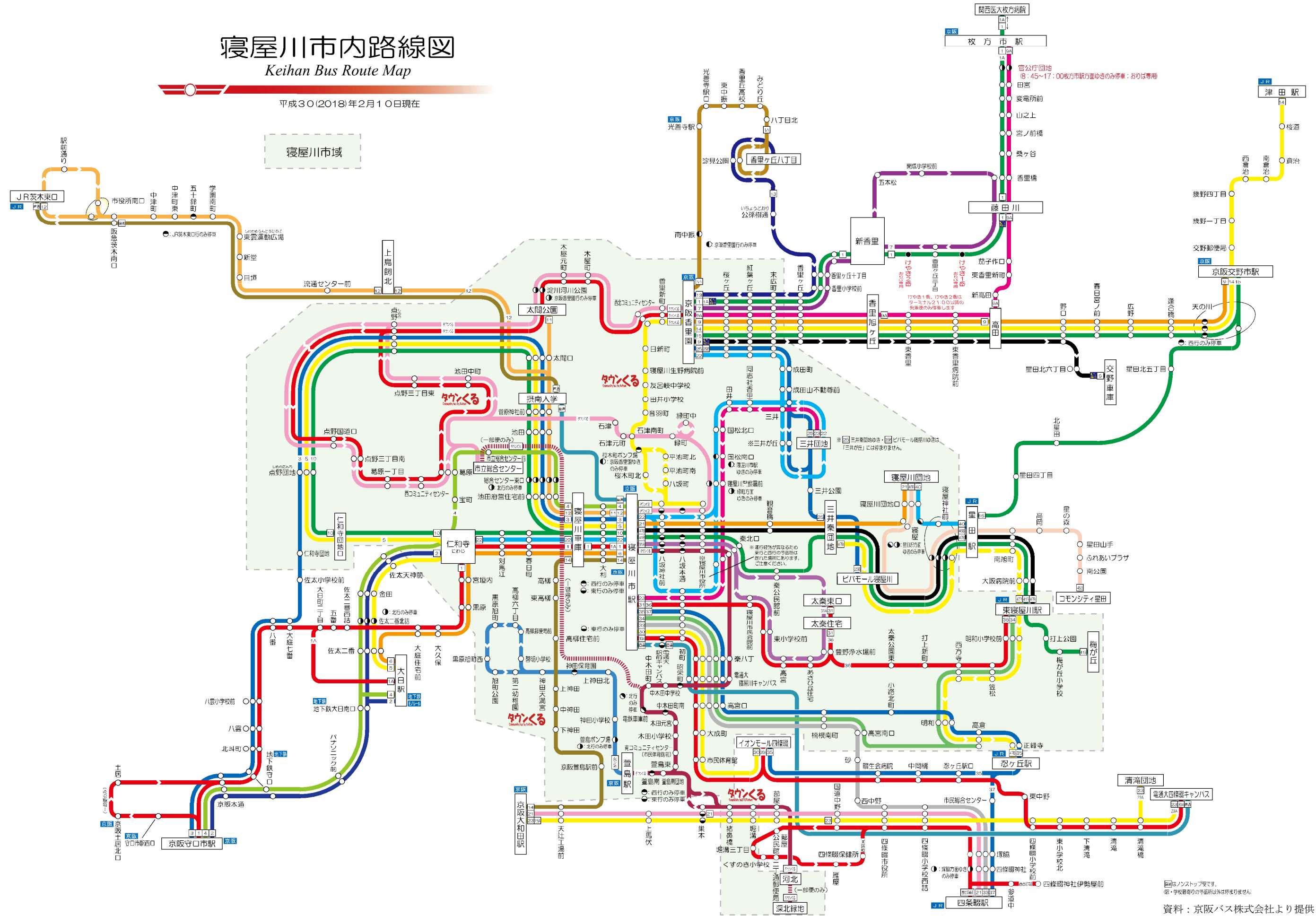
※運行回数は片道1便（または、1循環1便）を
0.5回として示している

資料：京阪バス株式会社より提供

寝屋川市内路線図

Keihan Bus Route Map

平成30(2018)年2月10日現在



資料：京阪バス株式会社より提供

3.4 公共交通のネットワーク

- ・ 駅勢圏・バス停勢圏内に9割以上の人口が集中しています。
- ・ 寝屋川市の施設立地をみると、ほとんどの施設が駅勢圏やバス停勢圏内に含まれています。

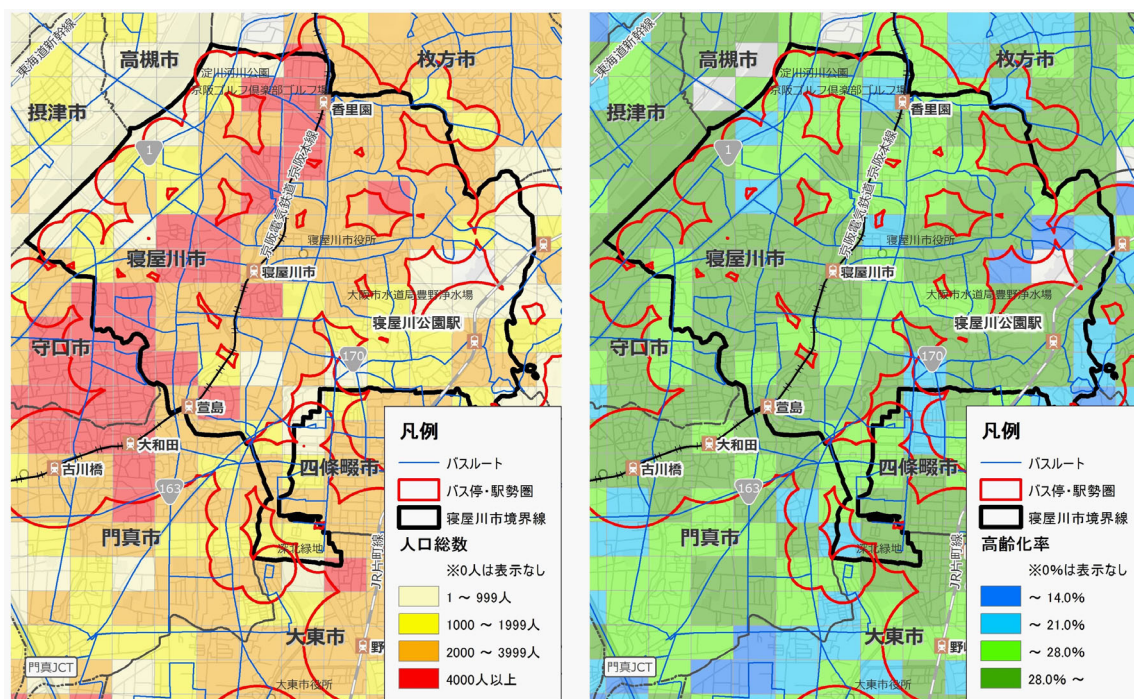
(1) 公共交通ネットワークと人口分布の関係

寝屋川市を運行する鉄道、路線バスのネットワークをみると、市内の人口の集中している部分を中心に網羅的な公共交通のネットワークが形成されています。公共交通のネットワークによって、網羅されている人口を駅勢圏・バス停勢圏で見ると、総人口の約9割に相当する約21.6万人、老年人口では約9割に相当する約6.2万人が駅勢圏・バス停勢圏*に居住しています。

※ 立地適正化計画における検討と合わせて、駅勢圏は駅から半径800m、バス停勢圏はバス停から半径300mと定義

表 駅勢圏・バス停勢圏内の人口の整理

	総人口 (人)	老年人口 (人)
①寝屋川市内全域	235,991	67,279
②駅勢圏・バス停勢圏内	216,209	61,530
③駅勢圏・バス停勢圏によるカバー率 (③=②÷①)	91.6%	91.5%



資料：国勢調査（平成27(2015)年、総務省）、国土数値情報（国土交通省）

図 寝屋川市における地域公共交通による人口カバー状況

(2) 公共交通ネットワークと主な施設立地の関係

寝屋川市の上位関連計画等で挙げられている市民文化系施設や大規模商業施設等について、公共交通ネットワークと主な施設立地の関係をみると、ほとんどの施設が駅勢圏やバス停勢圏に含まれています。

表 寝屋川市における地域公共交通による施設カバー状況

平成 29(2017)年 7 月現在

施設種別※ ¹	市内の施設数※ ²	駅勢圏やバス停勢圏※ ³ に含まれる施設数
a. 市民文化系施設（集会施設、文化施設）	13 ヶ所	13 ヶ所（全施設）
b. 社会福祉系施設（図書館、博物館等）	11 ヶ所	11 ヶ所（全施設）
c. スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設、レクリエーション・観光施設）	2 ヶ所	2 ヶ所（全施設）
d. 産業系施設	2 ヶ所	2 ヶ所（全施設）
e. 学校教育系施設（小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、支援学校）	48 ヶ所	41 ヶ所
f. 子育て支援施設（幼稚園、保育所、認定こども園、幼児・児童施設）	81 ヶ所	75 ヶ所
g. 保健・福祉施設（高齢福祉施設、障害者福祉施設、保健施設）	9 ヶ所	7 ヶ所
h. 行政系施設（庁舎等）	11 ヶ所	11 ヶ所（全施設）
i. 国や府の出先機関	11 ヶ所	11 ヶ所（全施設）
j. 大規模医療施設	14 ヶ所	13 ヶ所
k. 大規模商業施設	23 ヶ所	23 ヶ所（全施設）

※1 立地適正化計画・公共施設等総合管理計画の分類に基づき整理

※2 公共施設等総合管理計画で整理された公共施設ならびに別途整理した民間施設の総数

（市外にある公共施設は除外）

※3 立地適正化計画での検討とあわせ、駅勢圏は駅から半径 800m、バス停勢圏はバス停から半径 300m と定義

3.5 寝屋川市が取り組む移動支援・外出促進

- ・ 民間事業者が提供する鉄道、バス事業のほか、寝屋川市では、交通空白地域の解消や交通弱者*の移動支援、高齢者の外出促進として、関連部局がそれぞれ必要なサービスを提供しています。

※ 自分で運転できず、送り迎えしてくれる人もいない人。

(1) タウンくる（道路交通課）

公共交通空白地域を解消するため、バス事業者及び関係機関との協議、調整を行い、バスルート の確保及び利用促進を図っています。

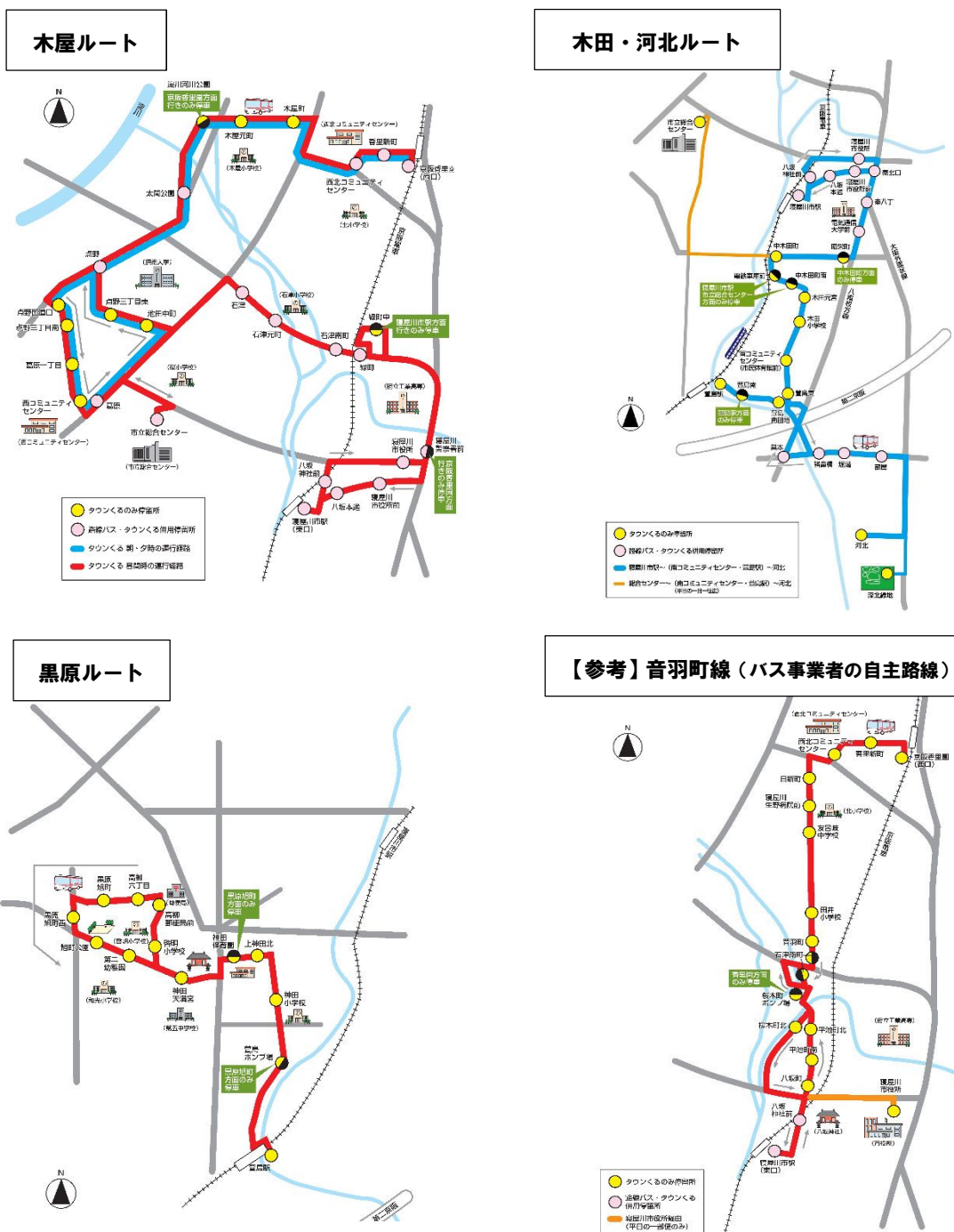


図 タウンくるの運行ルート

(2) 買い物等外出促進事業（高齢介護室）

環境上、身体上の問題で買い物等の外出が困難である者に対し、高齢者の介護予防及び閉じこもりの防止を図るため、買い物等支援対象者に対する支援を実施する自治会、NPO 法人に対し、買い物等外出促進事業に要する費用の補助、車両の貸与を行っています。

(3) 高齢者交通系 IC カード購入補助事業（高齢介護室）

高齢者の外出を促し、社会参加による生きがいがづくりや介護予防の推進、閉じこもりの防止を図るため、対象者に交通系 IC カード購入費用等の補助を行っています。

(4) 外出援助サービス事業（高齢介護室）

介護を要する高齢者に対して、外出や在宅福祉サービス等の利用を促進し、介護を要する状態の進行を防止することにより、自立した生活を継続することができるよう、高齢者の通院、介護予防・生きがい活動等への参加の際にリフト付き車両を使用して必要な援助を行っています。

(5) 重度障害者（児）タクシー基本料助成事業（障害福祉課）

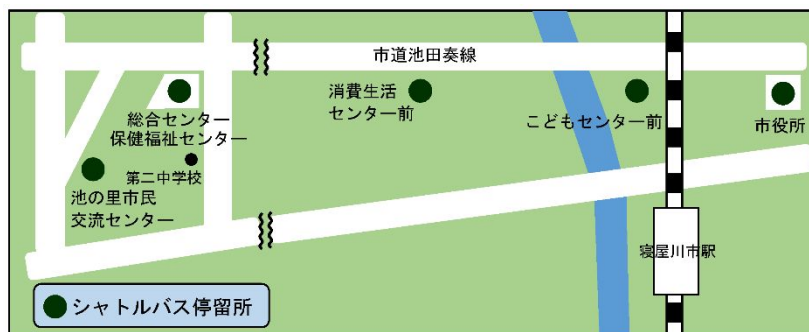
在宅の重度障害者（児）の日常の利便と社会参加の促進を図るため、タクシー基本料金の助成を行っています。

(6) 重度障害者等移動支援事業（障害福祉課）

車椅子等を使用しなければ移動することが困難な重度障害者に対し、外出を支援するための車椅子用自動車による移動支援を行うことで、障害者の地域での自立した生活の推進を図っています。

(7) シャトルバス運行業務（資産活用課）

開庁時に本庁舎と総合センター等との間で行政手続きがスムーズに行えるよう、施設間アクセスとしてシャトルバスを運行しています。



(平成 31(2019)年 4 月延伸予定)

図 シャトルバスの停留所の位置

3.6 地域の現況に関するまとめ（問題点・着眼点）

(1) 人口の推移

寝屋川市の総人口は平成7(1995)年をピークに減少が進み、平成27(2015)年には約23.8万人となっています。また、高齢化が進行しており、平成7(1995)年に比べ、平成27(2015)年の老年人口は約2.9倍に上昇しています。また、今後もより一層の少子高齢化などに伴う人口減少が進行する見込みとなっています。

(2) 人の動きの減少

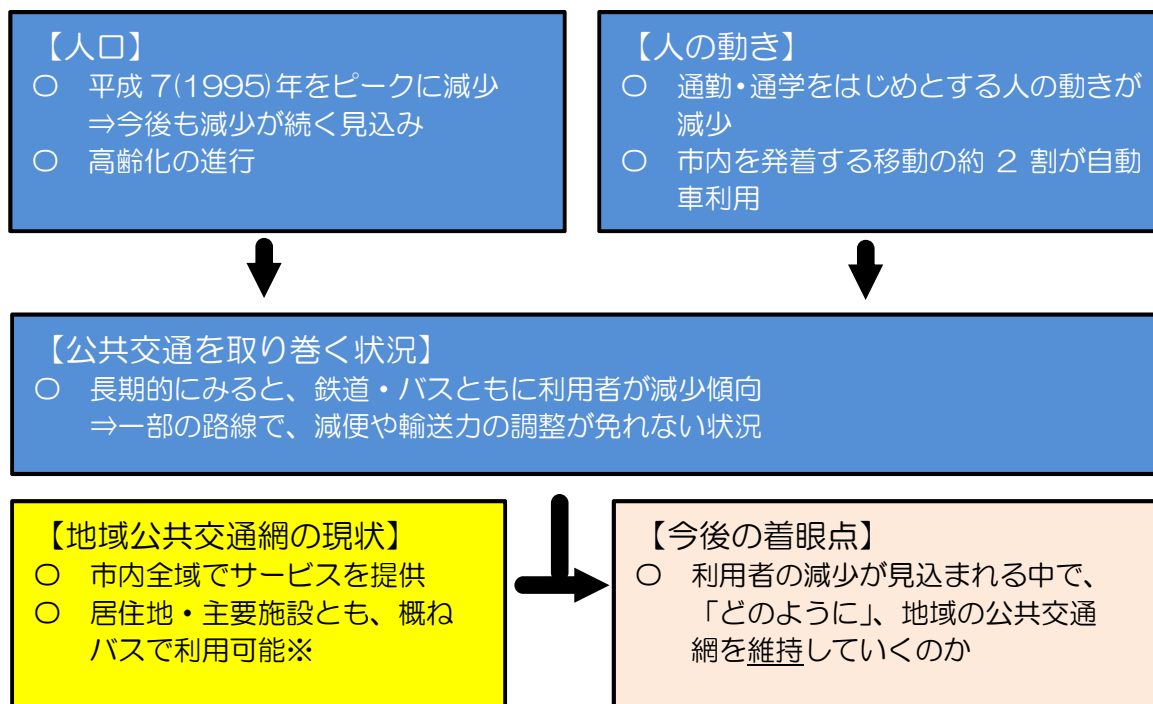
寝屋川市の通勤・通学流動を平成7(1995)年と平成27(2015)年で比較してみると、行先に関わらず流動量が減少しています。また、市内を発着する移動の約2割が自動車利用となっています。

(3) 公共交通を取り巻く状況

寝屋川市を運行する鉄道、路線バスともに利用者数が減少傾向となっています。路線バスについては、大幅な減便や路線の廃止等を行われていないが、段階的な見直し等が行われています。

(4) 公共交通のネットワーク

駅勢圏・バス停勢圏内に9割以上の人口が集中しています。また、主な施設立地をみると、ほとんどの施設が駅勢圏やバス停勢圏内に含まれています。



※ 駅勢圏は駅から半径800m、バス停勢圏はバス停から半径300m圏内

図 地域の現況に関するまとめ